

Reinzaka Boy Scout·Girl Scout 60th Anniversary 1947-2007





*Robert Stephenson Smyth Baden-Powell*  
と  
*Olave St Clair Baden-Powell, Baroness Baden-Powell*

スカウト諸君

「ピーターパン」の劇を見たことのある人なら、海賊の頭目がたぶん死ぬ時には、最後の演説をするひまはないに違いないと思って、いつもその演説をしていたことを覚えているだろう。私もそれと同じように、今すぐ死ぬわけではないけれども、その日は遠くないと思うので、君たちにさようならと別れの言葉を贈りたい。

これは、君たちへの私の最後の言葉なのだから、よくかみしめて読んでくれたまえ。

私は、非常に幸福な人生を送った。きみたちもみんな、同じように幸福な生涯を送ってもらいたい。

私たちが幸せに暮らし人生を楽しめるようにと、このすばらしい世界に神様は生まれさせてくださったのだと、私は信じている。金持ちになっても、社会的に成功しても、わがままができて、それによって幸福にはなれない。幸福に一步近づく道は、少年の時に体をじょうぶに強くすることで、そうすれば大人になったとき、役に立つ人になる。

自然研究をすると、神がこの世界を美しいもの、すばらしいものに満ち満ちた、楽しい所におつくりになったことがよくわかる。今与えられているものに満足して、最善を尽くし、物事に希望を持って、悲観的にならないようにしたまえ。

しかし幸福を得るほんとうの道は、他の人を幸福にすることにある。この世の中を、君が受け継いだ時より、少しでもよくしてあとに残すように努力したなら、死ぬ時が来ても、とにかく自分は一生を無駄にしないで最善をつくしたのだという満足感で、幸福に人生を送り幸福に死ぬことができる。

幸福に人生を送り幸福に死ぬために、この考えで常に備え、いつもスカウトの誓いを守り、大人になってもそれを忘れないことだ。

どうぞ君たちにそれができるように、神よ、お守り下さい。

きみたちの友

ベーデン-パウエル・オブ・ギルウェル

-B.P.のラストメッセージより



# Reinzaka Scout

霊南坂スカウト60周年によせて

# 60th Anniversary



## 霊南坂スカウト60周年を迎えて

日本基督教団 霊南坂教会  
主任牧師 小橋 孝一

敗戦後の社会不安・混乱の中に、神は霊南坂教会に大きな使命を与え、スカウト活動を起こされました。以来60年、教会を基盤として多くの少年・少女が活動に参加し、育っていききました。

また教会を基盤として、活動のための奉仕者も次々と与えられ、教会全体としてスカウト活動の育成に尽くしてくることが出来ました。全てを神の恵みと感謝いたします。

60年の間、教会に連なるスカウト活動を通して、多くの者たちが神と出会い、主を仰いで生き、働く者となりました。これからも子供たちが御心に従う者として成長していくことを願います。

霊南坂教会が深い祈りを持って始め、また続けてまいりましたスカウト活動を、今私たち霊南坂教会の定めにも明記

して、更に責任を持って育成しようとしています。これからも教会員一人一人が覚え、また祈りをもって支えていけるよう、祈ります。

連日報道されている、虐待やいじめ、自殺など、子供たちはこの社会の中で多くの問題に取り巻かれて、その中で生きることの困難さに直面しています。

霊南坂スカウトは教会の業である幼稚園や教会学校と連携して、その様な状況にいる子供たちをよりよく導くために大きな働きを成しています。

スカウト活動を初めとするこれら教会の業を通して、どうか子供たちがいつも神に祈り、神によって生きる道を見いだしていくことができますように、神のお力添えを共に祈りましょう。



## 創り主に感謝

日本基督教団 霊南坂教会  
牧師 西脇 正之

霊南坂スカウト発団 60 周年、おめでとうございます。

思えば 2002 年の 4 月 29 日に 55 周年の記念式典が持たれ、霊南坂教会に赴任して早々の僕は、スカウト活動の右も左もわからないままでしたが参加させていただいたことをよく憶えています。それからもう 5 年の月日を経たという、時の流れの早さに驚くばかりですが、しかし 60 年に渡る長き歴史に従って考えてみれば、僕はたったその 5 年分しか知らないということであり、僕などまだまだ愛らしい、無垢な幼子のようなもの（どこが!？）だなあと痛感しています。

今から 60 年前といえば、日本の国は敗戦直後にあって、暗く混沌としていたでしょう。しかしそのような闇の中に、まるでひとすじの光が差し込まれるようにして霊南坂スカウトの活動は始められていきました。そのことを思うとき、聖書の一番初めに出てくる天地創造の出来事が重なります。

神さまは混沌としていた世に光を与え、天と地と、そこに生きとし生けるものすべてを創り、それを「良し」とされました。すべてのものを愛し、祝福してくださったのです。同じように、霊南坂スカウトも、神さまが必要とされ、創造し、「良し」としてくださった。まさにそこから歴史が作られていったのです。

かつてベーデン・パウエルは「神に対するつとめを行なうとは、決して神のことを忘れないことである」と言ったそうです。神さまが創り、始めてくださった霊南坂スカウト。そこに関わっている私たちひとりひとりもまた、いつもこの心に神さまのことを覚え、祝福され、導かれていることに感謝し、祈りながら、次の新しい一歩を共に踏み出していきたいと思えます。



## 神に積まれたレンガ

日本基督教団 霊南坂教会  
牧師 佐原 光児

発団 60 周年おめでとうございます。「60」という数字を心にとめると、改めて「敗戦後間もなく」と思われます。価値観が一変し、失意や空虚感が漂う中、子どもの成長と教育のために「立ち上げられた」、この活動の意義深さを覚えさせられます。そしてもうひとつ大切なことは、「立ち上げられた」と同時に 60 年間「継続」してきたことです。ここに神さまがこのスカウトに相応しい始まりの時を与え、実に多くの働き人を遣わし継続させてくださったことを思います。

「私たちはみんな壁を作っているレンガのようなもの」というスカウト活動の創始者の言葉。「レンガ」で思い出すことと言えば、同志社には重要文化財でクラーク記念館という建物があります。これは 1894 年に献堂され、今は改修工事中で見ることが出来ません。在学中にこの建物のレンガを見ると、上の方は何ともないのですが下の土台と言える部分は、重み

と年月で形が分からないほどボロボロになっていました。

触ればバラバラと剥がれていきそうなほどの弱さ。けれども懸命に自分の上に積まれたレンガの重みに耐え、支えています。創立者の言葉は、「急所の無い壁の強さ」を言い表しているものと思います。けれども積み上げられる人材、歴史という視点でみる時、まさに記念館のレンガの方が相応しいのではないのでしょうか。先に立つ者達が次のレンガを背負う。次の世代のためにボロボロになりながら支えていく。弱さの中にある「強さ」を感じます。そして次に積まれたレンガがこの姿を模倣し、また次の世代のレンガを支えていく。次の世代のために一生懸命になれることは、とても素晴らしいことでしょう。これからも神さまがこの姿を与え、導いてくださるように。





財団法人 ボーイスカウト日本連盟  
理事長 橋本 綱夫

ボーイスカウト東京港第1団、ガールスカウト東京都第4団が創立60周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。太平洋戦争終戦の直後、焦土と化した東京で新しいスカウト運動が始まりました。スカウト運動に関わっておられた今井襄二氏が、GHQスタッフとして当時来日していたM.ウィリアムズ氏と霊南坂教会を訪れ、小崎道雄牧師に教会を育成母体としたスカウト活動の設立を要請し、同牧師の快諾を得てこの両団が発足したと聞いております。

本年は、ベーデン・パウエル卿がボーイスカウト運動を始めてから100年の記念すべき年であります。

世界スカウト機構では各国が取り組むテーマとして「平和」を掲げており、昨年9月に実施されたベンチャースカウトによる第16回全国スカウトフォーラムでは、「はじめよう！100周年を見ずえて、発信しよう！平和に向けて」を採択テーマとしました。またガールスカウト日本連盟と共に「ギフト フォアピース」のプロジェクトに取り組んでいます。



日本ボーイスカウト東京連盟  
理事長 室橋 幸三郎

2007年は世界スカウト運動100周年という記念すべき年に、港第1団が60周年、心よりお祝い申し上げます。

世界スカウト運動100周年記念では、世界ジャンボリーが創始の国英国で開催、また全国大会が東京開催等、様々な記念行事が予定されております。その中に港第1団60周年、すばらしいタイミングです。私が所属する千代田第1団(旧東京第5団)も1947年2月に発隊いたしました。またその年に4隊、5隊合同西秋留野営が永井隊長の下で行われたと5団誌に記されております。どちらが先かと言うより正に兄弟団であります。一口に60年と言いますと、過ぎてしまえばあぁ60年経ったのか位ですが、第二次世界大戦直後の混乱期にモデル隊として発足し創設した方々の苦勞、また団を継続した関係者の方々には深甚なる敬意を表します。

現在、ボーイスカウトメンバーの減少が色々な面で支障をきたしております。特にカブ・ボーイ年代の子供達の減少と言うのは、スカウト運動にとって大きな問題です。

世界各地で戦いが起っていますが、世界的な視野にたつてB-Pが願っていた平和の推進者としてスカウトがその役割を担っていくことが期待されています。いまユニフォームに付けている100周年記章「ひとつの世界、ひとつのちかい」はとても意味のあることと思います。くしくもこの年に両団は60周年を迎えられたのでありますが、これまで多くの関係者が、創始者の望んでいた「神と人々に奉仕する」青少年の育成に長年努力を重ねて、社会に有為な人材を送り出し、また、日本におけるスカウト運動にも多数の優れた指導者を輩出されたことは、大きな業績であると思います。

「ちかい」と「おきて」の実践によって次代を担う青少年を育てるスカウト運動はますます重要性を増すものと信じておりますが、キリスト教精神に支えられた両団がこれからも、日本と世界で活躍する多くの人を育て社会に貢献されることを切に期待し、そのためにも両団のますますのご発展をお祈りいたします。

連盟の様々な部門でその対策が討議されておりますが、なかなか時ばかり経ち改善されません。ベーデン・パウエル卿はスカウティングを創設するに際し、第一に少年達への限らない愛情と理解を基に始められました。親が子供をボーイスカウトに入団させる理由は色々あると思いますが、第一は規律正しく、社会の中で人々に喜ばれる人に育てて貰いたいということは、何より「育成会、親、指導者」が其の事に努力し責任を持つことです。言い換えればボーイスカウトは社会の中で「善意ある大人の社会教育団体」であると思います。

貴団の杉原さん、故飯田さん、故今田さんには旧第一地区の時に大変お世話になり、特に飯田さんには障害児スカウティング委員会で、今田さんには日本ジャンボリー全体行事部で第6回よりご指導を受け、今日の私があると思っております。霊南坂教会を母体とした港第1団がその創設期の理念をしっかりと伝承し、杉原団委員長を中心としての更なるご発展を祈念し、お祝いの言葉と致します。



(社) ガールスカウト日本連盟  
会長 石井 直子

ガールスカウト東京都支部第4団結成60周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、60年という長い歴史の時々を、さまざまなかたちで、見守り、ご支援くださった国、東京都を初めとする行政、友好団体のみなさまには深く感謝申し上げるとともに、今後も一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

首都の中央に生まれ、日本で2番目に古い伝統を持つ4団が、ハイキング・キャンプ・奉仕ほかのスカウティングを積み重ねて、勇気・誠実・信頼・友愛など目に見えない価値を大切に、社会に役立つ少女たちを数多くお育てになってきたことを、敬意とともに讃えたいと思います。

心正しく、礼儀や規範をわきまえて、明るく元気に活動するガールスカウトたちは、今の日本社会からはもっとも期待される姿と映っています。そして、現在、社会で

活躍している多くのガールスカウト出身の女性たちは、自分がガールスカウト活動によって育てられた数々の知恵を持ち、それが日々の仕事や生活に役立っていることをよく知っています。キャンプ生活で身に付いた作業の段取りの付け方、判断力や様々な工夫。さらには事業を企画・立案・実施・評価して次への展望に繋ぐ力。これらの力を楽しい体験活動を通して身に付けていくのがガールスカウト教育です。また、私たちは世界連盟の一員として、よりよい次世代を作る女性のための新しい能力開発の内容を教育プログラムとして持って、世界の姉妹とともに語り、学んでいます。「自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え行動できるようにする」女性を、女性たちの手で育てるガールスカウト教育を、皆で次世代に引き継いでいきましょう。4団のさらなるご発展をお祈りいたします。



ガールスカウト東京都支部  
支部長 曾田 佳恵

発団60周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

戦後、家や肉親を失い混乱期にあった少年少女達にいちはやく救いの手を差し伸べ、次代を担う青少年の育成を願う心ある方々によってボーイスカウト、ガールスカウト運動をスタートさせたことに深く敬意と感謝申し上げます。

4団は発団当初より変わることない霊南坂教会という活動拠点を有し、東京の中心地という環境にも恵まれています。60年継続してこられた陰には多くの皆様方の献身的な努力と熱意があればこそ、と敬服いたします。

今、大きな時代の流れの中にあって、東京都支部では様々な問題に直面しておりますが、日本連盟の氏名を受け、自分

と他の人々の幸福と平和を願いながら社会に貢献できる女性を育成することを目標とし、丁寧に対応するよう努力いたしております。

4団からはこれまで多くの成人会員の皆様方に多大な貢献をいただき、今現在もご支援ご協力をいただいておりますこと、心強く思っております。スカウト、リーダーのみなさまは諸先輩方のご活躍を誇りに思われ、目標とされ、素晴らしいチームワークでますます活躍されることを期待しております。

60周年を契機に、ボーイスカウト、ガールスカウト精神がより多くの人々に理解され、4団がさらなる飛躍発展されることを心からお祈り申し上げます。





## 実践躬行の足跡

ボーイスカウト日本連盟 相談役  
ガールスカウト日本連盟 顧問  
三島 昌子

発団 60 周年おめでとうございます。  
1947 年発団とは、まだボーイスカウトは勿論ガールスカウトでも日本連盟再建中の時ではなかったかと思えます。

占領下この運動の再建を目指していた私の亡父・三島通陽は、当時 GHQ や文部省に元少年団指導者の方々と共に走り回り、まず日本の「誓い」「掟」をはじめ記事の制定に智慧を絞って米軍司令部への説得に明け暮れていました。

当時私は、西那須野にあった三島別荘（現 BS 野営場）に暮らしていましたが、ある週末に GHQ 民間情報局エルスワース中佐が、父の招待でジープを駆って訪れました。これが私共一家のホームステイ受入第一号であったのです。その後フィンネル氏、タイバーご夫妻、ティルトンご夫妻、ミセス・コーキンスご一家から BS 極東支部長ランドご一家等、次々と純日本家屋での休暇を楽しんで帰京されました。再度の訪問者にウィリアムス氏が小川通訳を伴って泊まりました。氏はジョージ・今井氏とも交流があり、貴団の発団に大きな貢献をされた結果が全国で逸早い発団の名乗りと思われま

す。団結成後次々と都連盟、日本連盟の礎石を固める有能な指導者を輩出して、輝かしい歴史を築かれています。

ガールスカウトの場でも、奇しくも私がプログラム委員会でご指導をいただいたのが芹野（小崎）朝子さんであり、ダーキン氏、スピーアース氏指導の小金井でのキャンプコースに共に参加したこともあります。

順次ガールスカウトにも優秀な人材が貴団より提供され、霊南坂教会の力強い後ろ盾と相俟ってスカウト運動の軸を貫かれております。

その源は、将に日本 BS 運動の先駆者佐野常羽先生の教訓、三つの鉄則に他ならないと思うのです。その訓えを記し貴団の脈々たる伝統に心からの敬意を贈る次第でございます。

1951 年スカウト国際会議で、「どうしたら“スカウト運動”を世界に拡めることができるのか」という題で各国のその道の達人が 3 日間も討議をした結果、英国の一先輩老人が“君達は、それには皆それぞれが自己の足元を固めて、それぞれ良い隊をつくり、良い子をつくるのが一番この道を拡めることなのだ。”と言った。

「スカウト運動の看板は立派だ」、しかしその内容は果たして皆の隊はその看板だけの自信が十二分にあるか、凡そレットルと商品とは一致しなければならぬ。今スカウトのレットルは美しい。しかしそのいいレットルそのものと寸分違わず皆の隊が全部出来ているか？ここが問題だ。「さあ皆手を組んで動もう。そうして良い人間をつくらう。そうすればこの運動は必ず拡まらずにはいない。」と。

この言や味わうべしだ。その時世界のこの道の人々も拍手をして、この言の実践躬行を誓い合ったのである。

実践躬行、精究教理、道心堅固。

Activity First. Evaluation Follows. Eternal Spirit



ガールスカウト東京都第4団  
顧問 針替 富美子

発団60周年を迎え、神様の御恵みと導きの深さを感謝する日々でございます。

今年は敗戦62年を覚えます時、発団60年はまだ戦後の痛みと混乱の中で、スカウト活動参加の依頼を小崎牧師と当時の長老会の方々が次代を担う青少年のために、そして日本の将来に思いをはせ、決断されたこと、その上、創始者ベデーパウエル卿と信仰を共にするチャーチスカウトであることは、人の思いを越えた神様の御導きであります。

私の子どもたちがスカウトに参加したのは、友人の薦めにより申し込みましたのが、霊南坂教会教会のスカウトでした。そしてやがて私をはじめとして家族も信仰に導かれました。入団当時スカウト活動は上昇しておりましたが、その後受験

態勢とか社会情勢の変化につれて、廃団となる団も増えた中で今日まで活動を続けられて居りますのは、スカウト活動を覚えていただくスカウトサンデー礼拝と子どもの日の礼拝にスカウトと共に礼拝をまもり教会の方々の御加護を神様がかえり見て下さっておられる故と確信しております。

この記念日に思うことは、ガールスカウトのおきてと約束にある「神に対するつとめを行い、地域社会に対する責任を覚え、かけがえのない命あるものを大切に。」を實踐し、戦災・天災・人災に苦しむ世界に目をむけ、世界平和を求めめる精神が週毎の集会を通して育まれるよう、そして社会の方への見守りと祈りリーダー他多くの方々の御奉仕を感謝し、すべての上に主の御祝福が豊かにとお祈り致します。



霊南坂スカウトクラブ  
会長 小崎 忠雄

日本の国は、1941年12月8日に世界を相手に戦争をして、1945年8月15日全面降伏し敗戦を迎えた歴史の記憶を新たに、二度と戦争をしてはならない、平和な国を誓って今日を迎えています。

戦争は、国民全体の生活に苦しい体験を強いましたが、戦後、明るい希望を知りました。「スカウト活動は、『神様は誰でも同じように愛してください』と信じ、たとえ敵国の子どもにも、『希望のある生活は自力で築くようその力をスカウト活動で養いたい』との祈りで、進められる活動が示されました。

1947年、占領国GHQに勤務していたアメリカ軍曹マーティンウィリアムさんとジョージ・今井さんが霊南坂教会の牧師を訪ねてボーイスカウト活動を始めないかと奨めました。このことが動機で、教会の日曜学校に来ていた少年と桜田小学生の有志が集められ、スカウト集会を始めました。

今の少年たちには考えられないことですが、60年前の日本は食べる物も着る物など、物資が充分なく貧しい時代でした。

また自由に楽しく遊ぶ場所もなかった時代でした。その他にも戦後は、スカウトの誓い・掟がまだ日本語でなかったため、英語のままに暗記しました。

「オンマイオーナアイウィルドゥマイベスト、ツッドゥマイドゥテイツッガードアンドマイカントゥリィーツッオーバーゼスカウトロウ」「サービストゥアザーウィズアスマイル」

この精神は素晴らしいです。いつも喜んでいなさい。自分の様に他人を愛しなさい。だれに対しても親切にいなさい。このキリスト教の聖書の言葉は子どもの時に覚え、大人になった今も心に刻まれています。

創立60周年を神様に感謝し、世界の平和を、お祈り致します。





## 新しいスタート

日本ボーイスカウト東京港第1団  
団委員長 杉原 正

太平洋戦争が終り混沌とした時代の中で霊南坂教会においてスカウト活動が始まり、今年霊南坂スカウトが六十周年を迎えられたことを神様に心より感謝いたします。またスカウトとして参加し、育てられた者として創設に深く係られたM・ウィリアムズ、今井麗二の両氏、小崎道雄牧師には言葉で言い表せない感謝の想いが強くあります。

教会スカウト(チャーチスカウト)としての六十年の道のりは平坦ではありませんでしたが、関係されたリーダー、団委員や保護者そして教会関係者のご理解とご協力、またお祈りとお支えの賜物と深く感謝いたします。

六十年は、人生で言うと数え年六十一才の還暦のときであり、再び生れたときにかえることから、新しくまた生きることをも表すとされています。このときに「みんな仲間だ、霊南坂スカウト」のテーマで共に進もうとしています。

霊南坂スカウトクラブの機関紙で西脇正之牧師が、創始者バーデン・パウエル卿の言葉「神のチームのよき一員となれ」

を引用されて、次代を担う子ども達にとって成長過程における非常に大切な時期に、チャーチスカウトの一員として愛の業を世に行ってゆけることの素晴らしいことを示されました。この愛の業については、ボーイスカウトでは「日日の善行」としてスローガンにして実践することになっています。常に「思いやり」の心をお互いに「共有」し、実行していくことが大事であります。

六十周年の記念するこの年は、ボーイスカウト運動が英国で創始されて100周年であり、世界スカウト機構では記念して「平和」のためのプロジェクトを世界中で展開し、スカウト運動が社会に貢献することを推奨し、日本ではガールスカウトと共に「ギフト・フォー・ピース」に取り組んでいます。

この記念するときに霊南坂スカウトは、神のチームのよき一員となるよう「みんな仲間だ、霊南坂スカウト」として新たなスタートのときとしたいと願っております。



## 60周年記念で期待すること

日本ボーイスカウト東京港第1団  
副団委員長 内藤 正樹

私が生まれたのが1947年5月で、この団と同じ年齢です。60才は社会で定年を迎える時ですが団の60才は違います。団は年を重ねるたびにそこで活動した人の輪が広がっていきます。ちょうど木の年輪のようなもので、無限に成長していくものです。

現在スカウトの皆さんは、団が60年の歴史を持っていることをどんなことで感じるのでしょうか。多分何も感じられないのではと想像します。ただやたらと先輩(OB、OG)が多くいるようだと感じるだけではないでしょうか。60周年を迎える喜びを感じているのは、スカウト活動を始めてから二十数年経ったOB、OGと保護者たちではないでしょうか。

歴史とは過去を振り返ることで喜びを感じるもので、現在活動をしている人たちは歴史をあまり感じられないものなのでしょう。しかし、この団の未来は現在活動をしているスカウト

でなければ作れません。過去の人(OB、OG)がどんなに考え希望しても団の未来は作ることができないのです。過去(歴史)ー現在ー未来は確実につながっています。現在は過去と未来のつなぎ役でどんな未来を作るのか、その責任を持たされた創造者は現在スカウトである皆さんなのです。

今を生きることは未来を作ることにつながります。この60周年記念を機会に歴史を再認識して、「素晴らしい未来を築くには私たちがのだ」を心に抱き今を一步一步確実に前進してください。

スカウト活動は自分の人生の一時期だけのものだと思わないで、これから進む長い人生の基礎となるので、未来に向けて継続させることが大切なのだと考え活動を継続することです。そして十数年後に今を振り返って、この活動をしてきた仲間と喜び合えるようになってください。期待しています。



## 霊南坂スカウト60周年おめでとうそして次へ

ガールスカウト東京都第4団

団委員長 梅澤 佳美

還暦を迎えた霊南坂スカウトに私がかかわりを持ったのは長女が入団した1979年からです。霊南坂教会の中で神様と教会員の皆様に見守られ、「やくそくとおきて」を持つ活動に魅力を感じ、関わっていきたくて思いました。自分で考え行動できることを目指し、信仰、平和、誠実、友情、責任、思いやりなど、すぐには結果が出ないけれど人として何よりも大切なものを目指す活動に出会い、私も娘たちも賜物とたくさん仲間を得ることが出来ました。年齢を越えて同じ体験を共有し、協力した思いはかけがいのない宝ものです。

あの頃は子どもの数も多く、希望者全員が入団できないほどでした。今、スカウトが年々減ってきています。

少子化、受験、学校のクラブ活動、お稽古事、さらに楽しいことがたくさんあります。面倒なこと、効果がすぐでないこと、苦勞すること、我慢すること、他の人を大切に思うことなどは人気がありません。本当に大切なものは何か、神様に喜ばれることは何かを真剣に考えると、スカウト活動は生涯をかけてこれらを追い求めていく大切な活動だと思えます。スカウト活動に出会って本当に良かった、一人でも多くの方がこの活動の大切さ、楽しさを知って、仲間が増えていくことを願っています。この思いを次に霊南坂スカウトを担っていく方に確実に伝えたいと願っています。



## スカウト活動の思い出

ガールスカウト東京都第4団

副団委員長 矢島 尊子

スカウト、リーダー、団委員として4団に関わりをもって30年以上になりました。スカウトの時の思い出といっても、キャンプの水汲みの辛さや支部キャンプ（仲良しキャンプだったと記憶していますが）に参加した時、配給された鍋の底にクレンザーをつけず火をかけてしまい、点検の厳しいキャンプだったのでお鍋を初日からず〜と磨いていた事を思い出します。

楽しかった事はリーダーになってからの方が思い出します。チキンライスをお釜で作り芯めしを炊いた事やキャンプ中アメリカドックや流しソーメンを作ったり、一番面白かった事は

スカウトが私達リーダーへの不満を鳥や物に向かって言っているのです。怒るところかスカウトの知恵に感心し、皆で笑ってしまいました。年齢の違いはあっても今でも仲良く集まれる仲間が出来た事は私にとって大切な事の一つです。

今、現在娘が4団に入団して以来、団委員として同じ立場のお母様方と側面から団と関わりを持ちそこで多くの方々と交流が出来た事で皆さんと作り上げる事の楽しさを改めて知りました。これから少しでも多くの方と一緒に楽しくスカウト活動をサポートする事が出来たらと考えています。





## 霊南坂スカウト60周年おめでとうそして次へ

ガールスカウト東京都第4団

団委員長 梅澤 佳美

還暦を迎えた霊南坂スカウトに私がかかわりを持ったのは長女が入団した1979年からです。霊南坂教会の中で神様と教会員の皆様に見守られ、「やくそくとおきて」を持つ活動に魅力を感じ、関わっていきたいと思いました。自分で考え行動できることを目指し、信仰、平和、誠実、友情、責任、思いやりなど、すぐには結果が出ないけれど人として何よりも大切なものを目指す活動に出会い、私も娘たちも賜物とたくさん仲間を得ることが出来ました。年齢を越えて同じ体験を共有し、協力した思いはかけがいのない宝ものです。

あの頃は子どもの数も多く、希望者全員が入団できないほどでした。今、スカウトが年々減ってきています。

少子化、受験、学校のクラブ活動、お稽古事、さらに楽しいことがたくさんあります。面倒なこと、効果がすぐでないこと、苦勞すること、我慢すること、他の人を大切に思うことなどは人気がありません。本当に大切なものは何か、神様に喜ばれることは何かを真剣に考えると、スカウト活動は生涯をかけてこれらを追い求めていく大切な活動だと思えます。スカウト活動に出会って本当に良かった、一人でも多くの方がこの活動の大切さ、楽しさを知って、仲間が増えていくことを願っています。この思いを次に霊南坂スカウトを担っていく方に確実に伝えたいと願っています。



## スカウト活動の思い出

ガールスカウト東京都第4団

副団委員長 矢島 尊子

スカウト、リーダー、団委員として4団に関わりをもって30年以上になりました。スカウトの時の思い出といっても、キャンプの水汲みの辛さや支部キャンプ（仲良しキャンプだったと記憶していますが）に参加した時、配給された鍋の底にクレンザーをつけず火をかけてしまい、点検の厳しいキャンプだったのでお鍋を初日からず〜と磨いていた事を思い出します。

楽しかった事はリーダーになってからの方が思い出します。チキンライスをお釜で作り芯めしを炊いた事やキャンプ中アメリカドックや流しソーメンを作ったり、一番面白かった事は

スカウトが私達リーダーへの不満を鳥や物に向かって言っているのです。怒るところかスカウトの知恵に感心し、皆で笑ってしまいました。年齢の違いはあっても今でも仲良く集まれる仲間が出来た事は私にとって大切な事の一つです。

今、現在娘が4団に入団して以来、団委員として同じ立場のお母様方と側面から団と関わりを持ちそこで多くの方々と交流が出来た事で皆さんと作り上げる事の楽しさを改めて知りました。これからも少しでも多くの方と一緒に楽しくスカウト活動をサポートする事が出来たらと考えています。

## 霊南坂スカウトのはじまり

Start of ReinanzakaScout



日本がいろんな国と戦争をして負けてしまった年から2年目のことです。日本の人々はみんな失望していました。とくに子どもたちは夢も希望もなく、まだアメリカの兵隊たちがいる町を下を向いて歩いていました。そんな悲しみの中にある少年少女を助ける為に、アメリカの軍人だったマーティン・ウィリアムさんと、今井譲二さんが立ち上がりました。

二人の目的は、スカウト活動を通して、日本の子どもたちに夢と希望を与えることでした。ところが二人の考えはどこへ行っても理解されませんでした。そんなある日のこと、霊南坂教会をたずね牧師の小崎道雄先生に会いました。

「この教会でスカウト活動をしてみませんか？」

小崎先生は、たまたまアメリカのスカウト活動を知っていたので、

「いいですね、やりましょう」

と答えました。そして教会に通っていた子どもたちに、「今度の土曜日に教会に来てみなさい」と言いました。





1947年2月22日、  
最初に集ったスカウトの人数は、18人でした。  
「スカウト」の意味もわからなかったこどもたちは、  
ウィリアムさん、今井さんに教わりながら、少しずつ勉強していきました。まず、「神と人に仕える人間になりなさい」と教えられました。二人はスカウトに入団してきたこども達に、食べ物をあげ、「他の人々にも食べ物をあげる優しさをわかってほしい」と思い、当時とてもめづらしかったコーラやチョコレートをおあげたのです。

当時の集会は、アメリカで使っているハンドブックを自分達で訳し、火おこし競争やテントの張り方、ロープ結びをしたり、野球やフットボールなどのスポーツをしたり、道に落ちている空き缶を拾ったりしていました。そして、集会の始めと終わりには、必ずお祈りをしていました。これは、チャーチスカウトの基本です。

# Story

Start of ReinanzakaScout



当時はユニフォームがなかったので、自分たちで工夫をしました。ボーイスカウトは今井譲二さんの出身だった、ハワイホノルル36隊と同じ青とウィリアムさん出身団アリゾナ4団の黄を合わせたネッカチーフを作りました。ガールスカウトは普段の洋服に黄緑と深緑のスカーフをつけ、集会をしていました。

当時は食べるものも今のように豊かではなかったので、キャンプにもっていく食材も簡単には用意できませんでした。そこで、集会ごとに少しずつお米をためていき、キャンプが出来るほどの量がたまったら、キャンプへ行くことができました。みんなで大切にためたお米を分け合って、食事を作ります。そのおいしさとありがたさに、とても感激しました。





こうしてウィリアムさんと今井譲二さんの協力で始まった霊南坂のスカウト活動は、18人のスカウトたちの希望を取り戻すことができました。そしてまた、日本中に輪となって広がっていったのです。このようにして始まったスカウト活動は、教会と関わった多くの人々に見守られ、今年2007年、60周年の時を迎えました。

今日も教会のあちこちから明るいボーイスカウト、ガールスカウトの声が聞こえてきます。

「霊南坂教会のはじまり、はじまり」  
平成13年度 ジュニア部門 霊南坂教会 55年記念制作絵本より  
発行日 2002年4月20日



2/22 B-P 誕生日に、教会と西桜小の両グループが発足



2/21 BS1 周年記念祝会

広島国際ジャンボリー  
8名参加



初ハイキング  
(金沢八景)

8/16-18 初キャンプ  
(茅ヶ崎)

初キャンプ  
(武蔵引田)

東京第4団  
正式発足

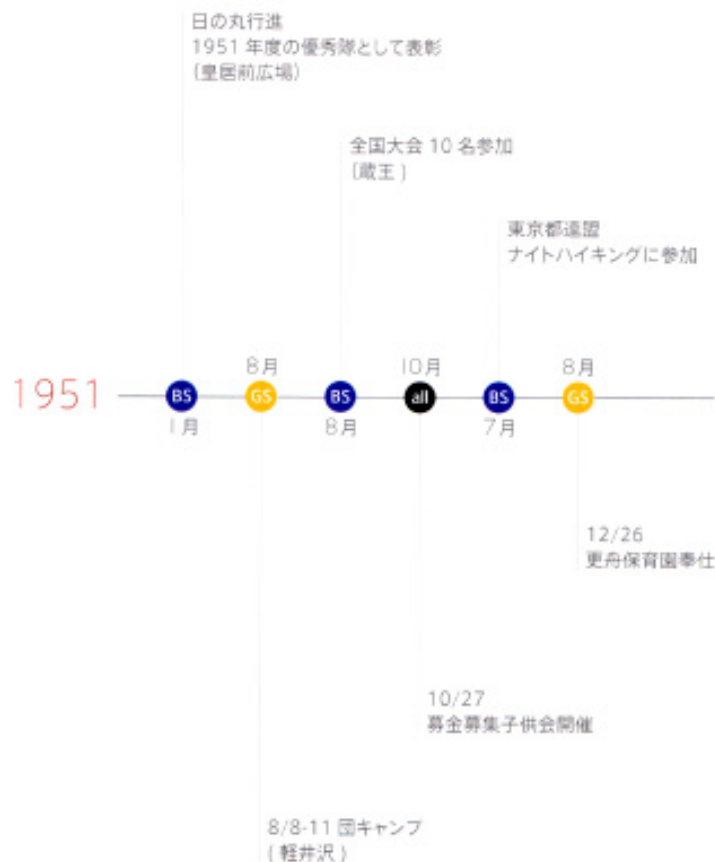
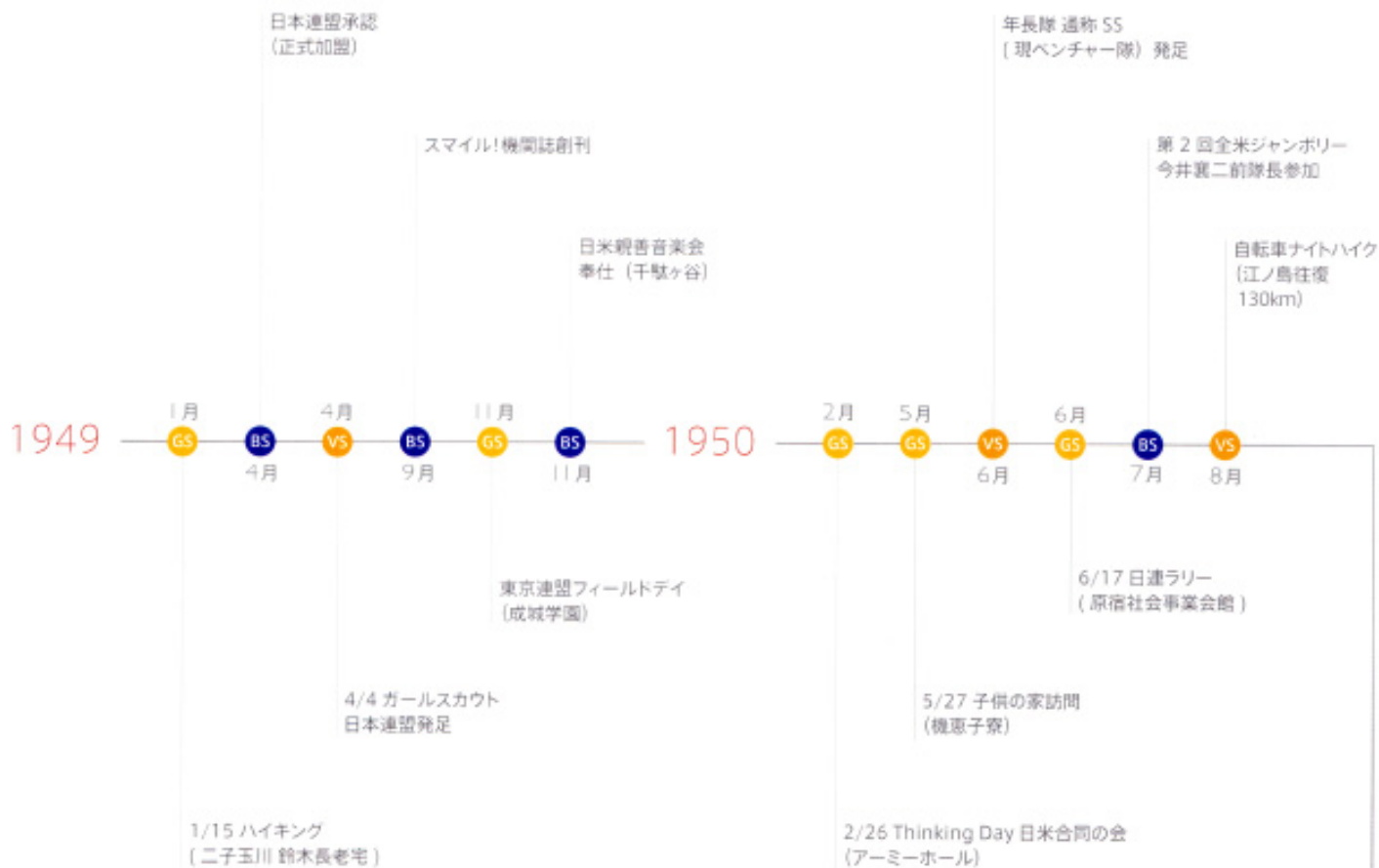
6/11 第1回集会、リーダー小崎朝子  
ミスギヤスケル、ウィルアムス出席



6/12 第4団発足(正式認可) 入団者14名



11/14  
東京ガールスカウト  
ラリー



旧礼拝堂





1/1 元旦礼拝



4/25 カブ隊の結成決定



7/23-26 BS 隊キャンプ (名栗)



東京都連盟

1級スカウトハイク  
(遊子)

1級スカウト誕生  
田中新二ほか

7/30-8/9  
団キャンプ (二の宮海岸)

4/4 国際スカウトの集い  
(明治記念館)

1952

all

1月

all

1月

4月

GS

BS

4月

5月

GS

BS

7月

GS

7月

11月

all

1953

GS

4月

GS

4月

5月

GS

4/5 日米  
GS 交歓会  
(光輪園)

5/3 ハイキング  
(奥多摩境の巖)

5/3 ハイキング  
(名栗川)

皇太子立太子礼の郡民大会奉仕







ボーイスカウト見学会



教会学校生徒大会奉仕 (日比谷公園)



カブ隊 結成、志水功隊長 就任

テレビ出演  
コーラス披露

教会映画会奉仕  
「雲の中の散歩」  
(共済会館)

日赤救急法の  
デモンストレーション  
(葛飾)



6/14  
教会の花の日奉仕

10/11 東京支部大会  
(新宿御苑)

日野4隊と  
2級訓練  
キャンプ

ハーシングハイツ内  
GSとの交歓会

12/29  
双葉保育園奉仕

7/30 団キャンプ (軽井沢)







5/3 ピクニックハイキング (百草園)



10/14 山手地区カブラリー (多摩川台公園)



7/27-30 舎管キャンプ (山中野営場)

初の車スカウト  
誕生 (津辺澄、  
高橋弘長)

団キャンプ  
(那須)

シースカウト結成  
日本で最初の  
SeaScout

東京都連盟の  
キャンプファイヤー  
(神宮外苑)

第1回  
日本ジャンボリー  
(軽井沢)

1955



1/15 成人の日  
祝賀会行進

1956



海外派遣スイス アワシャレ 黄井潤子



Br 入団式



8/15-18 GS キャンプ (八ヶ岳)







入団集立ち式



送別会



3/20 CSBSSS 山手地区ラリー

55 年長班 (現ローバー隊) 誕生

8/6-13 第14回  
世界キリスト教教育  
世界大会奉仕  
(千駄ヶ谷)

新制度により、  
東京第4団となる  
初代団委員長  
田中正男



第1回全国キャンプ 箱根芦ノ湖



11/9 東日本ラリー 香蘭女学校



1/4 上級スカウト (現シニア部門) 発足、初代リーダーに志水興 就任



3r キャンプ (初声海岸)







4/10 皇太子殿下 ご成婚祝賀大会奉仕



第 5 回アメリカジャンボリー



BS12 周年記念 シースカウト新団結成 153 団となる



合同おもちつき大会 (雲南坂教会)

第 10 回世界ジャンボリー  
(フィリピン)

8/9-13 キャンプ  
(八ヶ岳)



4/29 合同バスピクニック (谷津海岸)



8/7-11 団キャンプ (初声海岸)



イギリスの団リーダーが来日







8/10-13 CS 隊舎営キャンプ (富士見高原)



CS 入隊式



GS キャンプ (唐沢山)



7/26-28 Br キャンプ 軽井沢 YH



5/14 合同バスピクニック 狭山湖







7/21-24 吉宮キャンプ (伊東ユースホテル)



8/2-8 アジアジャンボリーに参加 (伊勢場)



入団集立ち式

青年隊  
(現ローバー隊)  
発足

警視庁記念日  
ショー奉仕

全国カブラリー  
(上野公園)



7/22-25 上級キャンプ (三浦海岸)



8/8-11 キャンプ (那須 BS 野宮場)



7/26-28 キャンプ (軽井沢)



ジュリエットローセッション参加 (メキシコアワカバニア) 田中恵子







7/21-24 会営キャンプ (西湖コースホテル)



7/31-8/7 アジアキャンプ (戸隠)



2/23 国際友好の集い (久保講堂)

杉原カブ隊長  
ウッドバッジ授与

第11回世界ジャンボリー  
飯田隊長が参加

3/21  
BS 隊ハイキング (柿生)



海外派遣  
田中恵子  
(メキシコ)

新春ハレード  
(日比谷一館座)

4/28  
レンジャー  
正式発足

上級スカウトデイキャンプ (栗原家)



8/28-30 GS キャンプ (日光)



ナイトハイク美武蔵高原







ハイキング (高水三山)



1月 絵画館見学



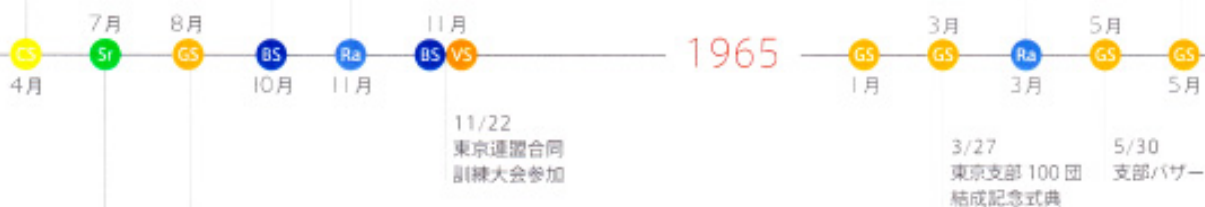
4月 カプ隊 10周年記念



教会の近くで

東京オリンピック奉仕  
(国旗掲揚など)

スケートの会



7/21-25 Sr キャンプ (平市・石森山)



8/10-13 GS キャンプ、ローバー隊が夜警 (朝霧高原)







7月\_Br 榛原高原



グランドハイツ内スカウトとの交歓会



キャンプ(唐沢山)

AIPPI 奉仕  
(ヒルトンホテル)

6月

BS

GS

7月

GS

7月

8月

BS

VS

RS

1966

GS

2月

2月

GS

BS

4月

4月

all

クリスチャンスカウト・ラリー [立教グラウンド]



テレビ出演 NHK「歌のメリーゴーランド」



3/30-4/1 Sr 春キャンプ(軽井沢)



バスピク(平林寺)







合同リーダー研修会（軽井沢）



8月 団キャンプ（山中野宮場）



キャンプ（富士高原自然科学苑）

新春ハレート



テレビ出演 NHK  
「明日は君たちのもの」

第4回日本ジャンボリー  
（日本原）

1967



教会奉仕者修養会  
（日本原）

一泊キャンプ  
（三浦半島）

スカウト展示週間三越



Sr キャンプ（天竜川）



雲南坂スカウト発団 20 周年記念式典







11月 秋ハイク (高水三山)



8/5-8 GS-a キャンプ (富士吉田)



7/26-29 GS キャンプ (那須野営場)



クリスマス  
祝会

1月



8月



11月



11月

1968

2月



スカウト  
サンデー礼拝

8/1-4 キャンプ (多摩バプテスト教会キャンプ)



8/5-8 GS キャンプ (富士吉田)







Br キャンプ (那須野営場)



Br 春ハイキング







CS キャンプ (西湖)



Ra キャンプ西ノ湖



デンマーク YMCA  
参加

11/5 BS 日本連盟創立  
50周年記念式典

1971

8月 VS RS

CS  
8月

8月 GS

8月 GS

GS  
8月

8/2-10 世界  
ジャンボリー参加  
(表富士高原)

1972

4月 BS

Ra  
8月

8月 GS

BS  
11月

団委員長に  
小崎忠雄氏 就任

国際キャンプ  
カウンセラー参加

上級キャンプ (山中湖)



GS 団キャンプ (山中野営場)







Ra キャンプ (阿世洞)



合同バスヒク (服部牧場)



夏キャンプ (飯盛山)



夏キャンプ (野辺山国鉄キャンプ場)







BS 入隊式



合同キャンプファイヤー



隊キャンプ (丹波山)

9/21 研修会  
「チャーチスカウトのあり方」

インターナショナル  
香港に参加

1975

3月

Jr

CS

8月

8月

Br

CS

BS

9月

Lr

9月

1976

8月

Jr

all

9月

GS

11月

11月

RS

12/24-30  
旅行 (沖縄)

社会科見学 (森永製菓朝見工場)



夏キャンプ (小林牧場)



Br キャンプ (梶井沢良山 YH 荘)







ピクニック (三鷹ICUグラウンド)



夏キャンプ (御胎内)



夏キャンプ (北海道斜里「広沼牧場」志水功氏訪問)



JrSr  
日赤 100 年パレード

30 周年記念祝会



合同キャンプファイヤー







ソフトボール大会 (青葉グラウンド)



7/22-25 夏キャンプ (山中湖 BS 野営場)



CS 隊キャンプ「戦国の武将たち」(伊豆)

第7回日本ジャンボリー (御殿場)  
リーダー安西、スカウト小崎、鈴木、大島



東京都支部  
主催 ハワイ

夏キャンプ  
(軽井沢山の家)

春手移動キャンプ (愛知県 知多半島)







夏キャンプ「ロビンフットの冒険」(清里)



春スキーキャンプ (小丸山)



CS 創立 25 周年記念式典



合同バスピク (森林公園)



7/23-25 夏キャンプ (軽井沢長山荘)



全部門合同夏キャンプ (本栖湖)







夏キャンプ (神奈川県 日向薬師)



合同もちつき (霊南坂教会)



バスピク (富士緑の休暇村)

1981



障害者との関わり (普門館)

1982



春ハイキング (伊東)

雪中キャンプ (新潟県 浅貝スキー場下)



春キャンプ (軽井沢 山の家)



夏キャンプ (日光)



ブラウニー地区行事 ブラウニーの船



リーダー研修会







7/23-26 夏キャンプ「戦国の武将」(千葉県安房郡千倉)



夏キャンプ「ロビンフットの冒険」  
(青山学院ハヶ岳寮)



春スキーキャンプ(小丸山)



移動キャンプ(日光)



ユニセフ  
募金

夏キャンプ(奥多摩川井キャンプ場)



夏キャンプ(湖尻ロッジセンター)



夏キャンプ(箱根電與保養所)







海外派遣 Ra 矢澤直子 (スイス アワシャーレ)



カブ夏キャンプ (野尻湖)



春スキーキャンプ (小丸山)



バザー (霊南坂教会)



Sr スカウトの船

1984



スイスアワシャーレ  
ホリデーセッション

都盲人福祉  
協会奉仕

夏キャンプ (軽井沢)



旧礼拝堂のとりこわし







7/23-23 夏キャンプ「忍者カブ丸」(那須野営場)



ガールスカウトの船



春スキーキャンプ (小丸山)



社会科見学 (消防艇)



芋祭り



シンキングデイ (雲南坂教会)



7/25-28 全部門合同夏キャンプ (伊香保)



春キャンプ (伊東)







3/29-30 春キャンプ (秩父)



春ハイキング (小石川植物園)



移動キャンプ (山中湖 100 キロハイク)



夏キャンプ (湖尻ロッジセンター)



7/25-28 夏キャンプ (本栖湖)



7/25-30 夏移動キャンプ (四国一広島)







春ハイキング (湖尻ロッジセンター)



春ハイキング (横浜)



春スキーキャンプ (小丸山)



BVS 夏キャンプ「チビクロ・ビーバー」(青山学院ハッ岳麓)



夏キャンプ (山中湖)



入隊式



夏キャンプ (山中湖)







春ハイキング (船の科学館)



春1泊キャンプ (千倉)



春スキーキャンプ「ホップステップジャンプ」(中子沢温泉)



7/22-25 夏キャンプ「戦国の武将」(青山学院八ヶ岳寮)



春スキーキャンプ (小丸山)



夏キャンプ (本栖湖キャンプ場)



夏キャンプ (富士山中湖センター)







移動夏キャンプ (熊本、長崎、福岡)



春ハイキング (忍野)



春スキーキャンプ (小丸山)



ミニキャンプ (茨城県 守谷町)

夏キャンプ  
(月崎キャンプ場)  
「我らが力の結集」



少女用  
制服改訂

夏キャンプ (御殿場東山荘)



夏キャンプ (YMCA 野辺山)







三民まつり



夏キャンプ (那須甲子少年自然の家)



第10回日本ジャンボリー (妙高高原)



夏キャンプ (山中湖小田急)

春スキーキャンプ (赤倉温泉)

夏キャンプ (川上村ふれあいの森)

1990-5 夏キャンプ (武川)







夏キャンプ「ピーターパン」(野辺山高原センター)



夏キャンプ「自然と共に」(川上村ふれあいの森キャンプ場)



春日部7団との交流 遠山さん



夏キャンプ(野辺山YMCA)

夏キャンプ「大きなダム」  
(武蔵五日市)

1泊ハイク  
(陣馬山)

1991



キャンプ  
(長瀬)

SKI HOLIDAY CAMP  
参加(ベルギー)

春ハイキング(秩父)



夏キャンプ(山中湖小田急キャンプ場)



春スキーキャンプ(北志賀小丸山)







春キャンプ (城南島キャンプ場)



夏キャンプ (山梨県 道志村)



夏キャンプ

春キャンプ  
(藤野朝花園)



三部門合同キャンプ (大月林業センター)







春スキーキャンプ (北志賀 小丸山)



夏キャンプ (奥長瀬キャンプ場)



1泊キャンプ (富商坂教会)



夏移動キャンプ (日光)



夏キャンプ (修善寺 YH)



団45周年キャンプ (山中野宮場)







夏キャンプ (青根キャンプ場)



1 泊キャンプ  
(横浜市菅野島キャンプ場)

ハイキング  
(千葉金谷)

第11回  
日本ジャンボリー  
(大分)



春スキーキャンプ (北志賀 小丸山)



春ハイキング (鎌倉)



夏キャンプ (郡須野営場)



移動キャンプ (伊豆大島)







春ハイキング (お台場公園)



春スキーキャンプ (小丸山)



夏キャンプ (羽村ルーテル保育園)

夏キャンプ

夏キャンプ  
(大島)



ベタルハイク (多摩川)



カントリー大作戦 (赤坂-六本木)



春ハイキング (鴨川シーワールド)







夏キャンプ (野辺山)



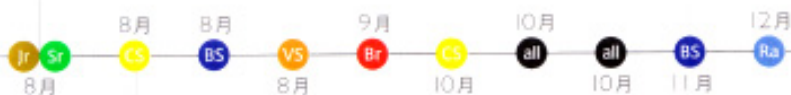
春日部7回の運動会に参加



富岡教会ハザー

夏キャンプ  
(本栖湖)

オーバーナイト  
ハイク(高尾山)



夏キャンプ  
(勝沼大滝山)

ハイク  
(花木園)

USA 国際キャンプ  
カウンセラー

夏キャンプ



合同キャンプファイヤー







夏キャンプ (YMCA 野尻湖)



クリスマス会 春日部 7 国と共に



夏キャンプ (信州 高遠少年自然の家)



春ハイキング「イチゴ狩り」



春ハイキング/家族同伴 (お台場公園)



夏キャンプ (大島 BS1 団野営場)







春スキーキャンプ (北志賀小丸山)



春ハイキング (若洲)



海外派遣 小野節奈 (イギリス ハックスロッジ)



発団 50 周年記念合同キャンプ (那須野宮場)







車庫挑戦キャンプ (茨城)



夏キャンプ (秋田県 北欧の森オートキャンプ場)



港7団との合同夏キャンプ (高生)



夏キャンプ (東京 YMCA 野辺山)

1998

VS  
7月

BVS  
7月

Br  
7月

7月  
Jr Sr Ra

8月  
Ra

BS  
8月

8月  
Ra

CS  
8月

8月  
Sr BS RS

CS  
11月

12月  
Tr

夏キャンプ  
(安中教会)

東京湾クルーズ  
パーティー

海外派遣  
川まで雅  
(イギリス)

第12回  
日本ジャンボリー  
7名参加

ヘレンストロー  
セミナー  
古谷充代

夏キャンプ (山中湖 野営場)



夏キャンプ







夏キャンプ (八ヶ岳 原村)



海外派遣 福嶋薫 (メキシコ アワカバニア)



講演「盲導犬ヘルナ」 都司ななえさん



50km ハイイク (高尾山～東京)

1999



お別れハイイク  
(ワイルド  
ブルー横浜)

夏移動キャンプ  
(奥多摩)

東京連盟  
サマーキャンプ参加

春ハイキング (防衛館)



日本アグーナリー 本多千春、今井幸子 (松山市)



春スキーキャンプ (北志賀 小丸山)



宇宙船体験ツアー「宇宙へGo!!」(アメリカ航空宇宙局 NASA)







夏キャンプ (北海道 別湖)



夏キャンプ (長野県みのり保育園自然体験村)



お別れハイキング



全部門合同 夏キャンプ (長野県羊礼村 ヘンション ハロー LALA)







春スキーキャンプ (北志賀 小丸山)



田植え・福刈り 春日部7団合同行事



東京都支部  
50周年記念式典  
(東京体育館)

春ハイキング (科学館)



夏キャンプ (富士みるくランド朝霧高原)



ハイキング (西湖)



春ハイキング (日本エアシステム格納庫)







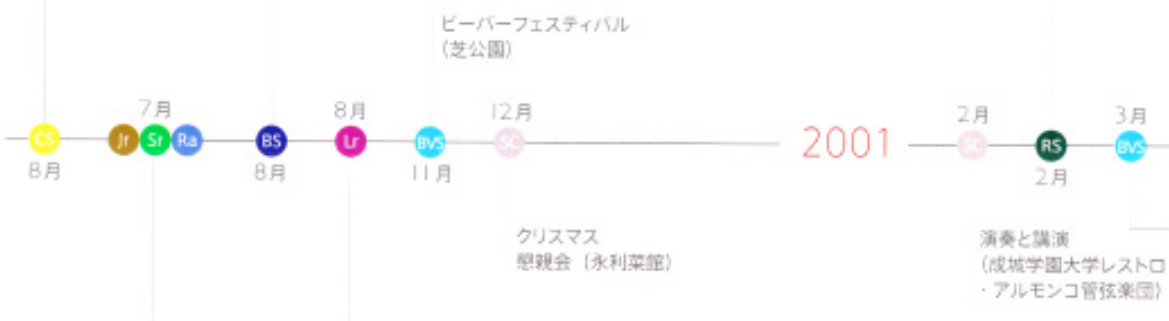
夏キャンプ (YMCA 野辺山センター)



夏キャンプ (長野県川上村ふれあいの森)



海外派遣 (バングラディッシュ)  
毛受寛貴



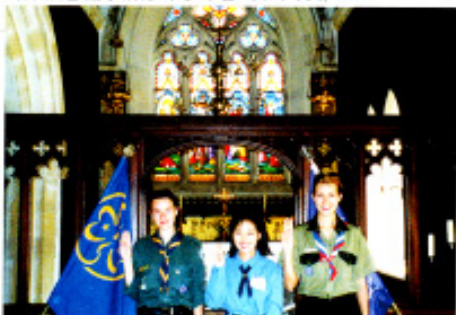
夏キャンプ (本栖湖青少年スポーツセンター)



お別れハイキング (横浜スーラシア)



海外派遣 語学研修 本多千春 (イギリス)







テンドーフット部門発足 手作りのタイ



春ハイキング



夏キャンプ (那須野宮場)

Ra 全国キャンプ  
来代なつき  
(芦屋)



ベンチャー章  
挑戦キャンプ

港地区ベンチャー  
プロジェクト研究会

春キャンプ (八王子 夕焼け小焼け園)



東京連盟サマーキャンプ 2001 (山中野宮場)



春スキーキャンプ (北志賀 小丸山)







夏キャンプ (長野県川上村ふれあいの森キャンプ場) ローバー隊が奉仕



夏キャンプ (千葉大房湖少年の家)

7月  
Lr

8月  
Sr

BS RS  
8月

8月  
Ra

8月  
Lr

CS  
8月

11月  
Br Jr

12月  
Sc

2002

2月  
Sc  
2月  
Tr

トロンホーン演奏  
スライド・マスター G4

クリスマス懇親会  
(水利菜館)

夏キャンプ (山中野宮場)



夏期プログラムスタッフ奉仕 福嶋里 (戸隠)



森のスケッチ



海外派遣 本多千春 国王と (スウェーデン)



海外派遣 清水昌子 (メキシコアツカバニア)



179 団との合同集会 (雲南坂教会)







ヒーローフェスティバル（芝公園）



お別れ春ハイキング（津久井湖）



夏キャンプ（福島県吾妻高原スターハントユースホテル）



春ハイク（成田ゆめ牧場）



発団 55 周年式典 スカウトクラブ主催祝会（虎ノ門バスター）



リーダー研修会（山中湖）



緑の羽共同募金（六本木）



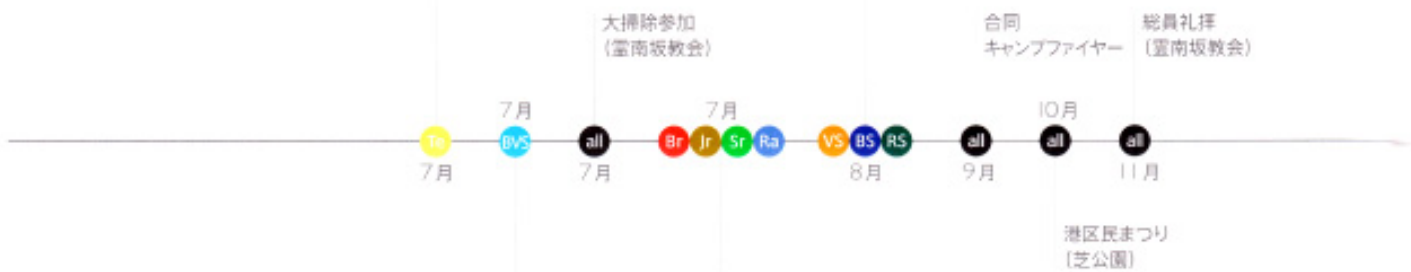




ミニハイク (井の頭公園)



第13回日本ジャンボリー (大阪府 舞洲スポーツアイランド) R5 奉仕



夏キャンプ (福島県吾妻高原スターハントユースホステル)



夏キャンプ (山中村営キャンプ場)







BSA 秋季キャンボリー



春ハイキング「イチゴ摘み」(三浦半島)

合同クリスマス礼拝  
(雲南坂教会)

クリスマス懇親会  
(虎ノ門パストラル)

和太鼓演奏  
「武蔵野国府太鼓」



クリスマス  
誓火賛美礼拝  
- 浴槽管備奉仕

合同おもちつき  
(雲南坂教会)

ボーイスカウト  
港地区  
キャンボリー

クリスマス会 (雲南坂教会)



春キャンプ (観音崎 青少年の家)



集会「親子でたこ焼きづくり」







春スキーキャンプ (北志賀小丸山)



夏キャンプ (日経連富士研修所 人材開発センター)



緑の羽共同募金 (六本木)

ベンチャー章  
挑戦キャンプ

移動キャンプ  
(富士五湖)



夏キャンプ (BS 山中野営場)



夏キャンプ (河口湖)







東京連盟サマーキャンプ 2003 [山中野営場]

バサー (雲南坂教会)      総員礼拝 (雲南坂教会)      合同クリスマス礼拝 (雲南坂教会)      クリスマス懇親会 (トム・ボーイズ)



アフガニスタン  
フォト  
ディスカッション      クリスマス  
蜀火詩美礼拝  
・浴道警備奉仕

全部門合同集会「難民について」



BSA-SA) 秋季キャンホリー VS 隊 奉仕参加



海外派遣「植樹」小崎安子 (モンゴル)







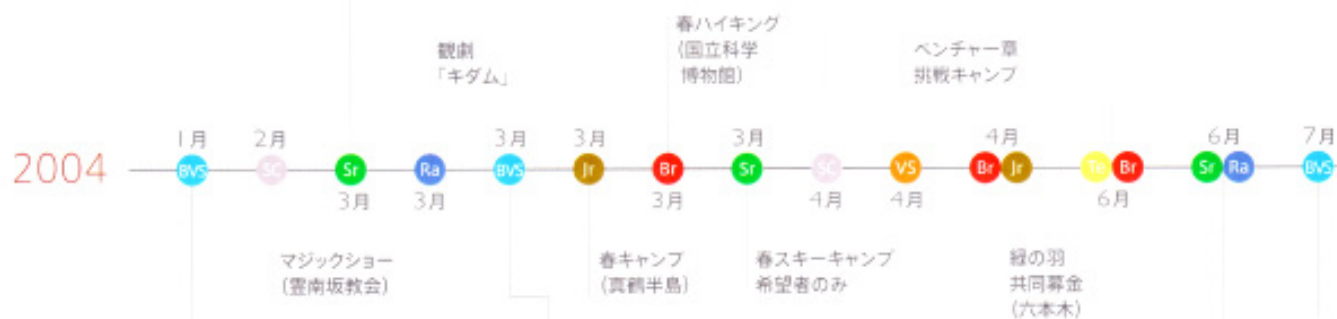
春キャンプ (広島)



合同バスピクニック (千葉 昭和の森公園) 20年ぶりに再開



ハイク (自然教育園)



アイススケート (日比谷)



1泊キャンプ (若洲海浜公園)



茶道体験



夏ハイク (箱根周辺)







東京連盟サマーキャンプ 2004 (山中野営場)  
 〓 スタッフ奉仕



夏キャンプ「がんばれカブスカウト野辺山リーグ」(野辺山)

7月

Br

BS VS  
7月

7月

VS

CS  
7月

all  
8月

大掃除参加  
(雲南坂教会)

夏キャンプ (伊豆高原)



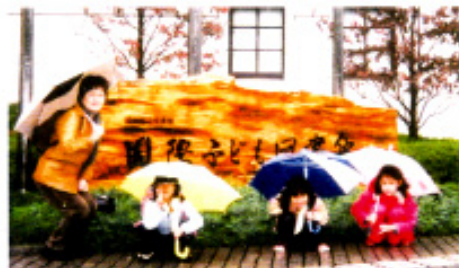
第14回ワールドベンチャーキャンプ派遣 小林 嵩英  
 (アメリカ合衆国 メリーランド州)







夏キャンプ（栃木県遊び塾キャンプ場）RS 隊が支援



おてかけ（国際こども図書館）



ハザー（堂南坂教会）Te 制作品販売



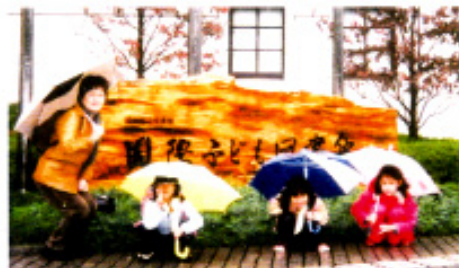
夏キャンプ（本栖湖青少年記念センター）Sr 多摩美術大学 情報デザイン学科が協力「携帯電話をつかったドロケイ」







夏キャンプ（栃木県遊び塾キャンプ場）RS 隊が支援



おてかけ（国際こども図書館）



ハザー（堂南坂教会）Te 制作品販売

8月  
BS RS Jr Sr Ra Te all  
8月 10月 10月

夏キャンプ（本栖湖青少年記念センター）Sr 多摩美術大学 情報デザイン学科が協力「携帯電話をつかったドロケイ」







11月 秋季キャンボリー



12月 有害廃棄物処理場見学 (大森)

合同  
クリスマス礼拝  
(堂南坂教会)

クリスマス懇親会  
(虎ノ門パストラル)

四重奏 演奏  
「新交響楽団」

春ハイキング  
(鎌倉)

サポート隊  
発足



12月 トラフニー部門 初団 50周年記念式典



12月 スカウトサンデー







春キャンプ (仙台 気仙沼) 「森は海の恋人」 富山重篤さんを訪ねて



東京連盟サマーキャンプ 2005 (山中野営場) RS 隊が支援



春ハイキング (アンデルセン記念公園)



第15回 ワールドベンチャーキャンプ派遣 増山植雄  
(アメリカ合衆国 イリノイ州シカゴ)



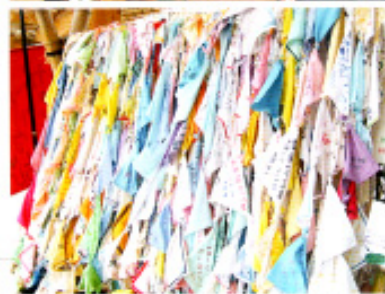
夏キャンプ (芦ノ湖)







⑤ 三湖 移動キャンプ



愛 地球博 ガールスカウト・ハビリオン奉仕  
岩垂 量子



老人ホーム奉仕 (サンサン赤坂)



⑥ キャンプ (天城ハリスコートユースホステル)



⑦ キャンプ (富士山こどもの国)

海外派遣「リーダーズギャザリング 2005」岩垂量子 (ブルネイ)







春ハイク「イチゴ狩り」(秩父)



集会「ブラウニーになるために」(堂南坂教会)



夏キャンプ(富士古田)

春キャンプ  
(親善青少年の家)

ヒクニック  
(福島県あふくま河) RS 隊が奉仕  
ハイク  
(三頭山)

2006

2月

Te

2月

2月

RS

Jr

3月

3月

Sr Ra

Te

3月

5月

CS Jr

3月

BVS RS

6月

6月

Sr

CS

7月

8月

BS VS RS

ジャズ演奏  
コバヤシ  
カルテット

ベンチャー富士章  
授章  
小崎信、小林富英

合同ハイキング  
(都立武蔵野公園  
都立野川公園)

NTT インターネット  
教室参加

春キャンプ(京都 聖教会に宿泊)



第14回日本ジャンボリー(石川県) VS 隊奉仕、RS 隊 JHQ 野営管理部として奉仕







キャンプ「ハリーポッター魔法学校」(千葉 清和泉氏の森)

港区民まつり  
(芝公園) 共同募金



夏キャンプ  
VS 隊が奉仕

技能草講習会  
「測候章」

アドレチヨプロジェクト 講演会「冒険と地球環境」高野孝子さん



バザー (霊南坂教会)



金子環境大臣 訪問 GS 日本連盟チームマイナス 6% 参画







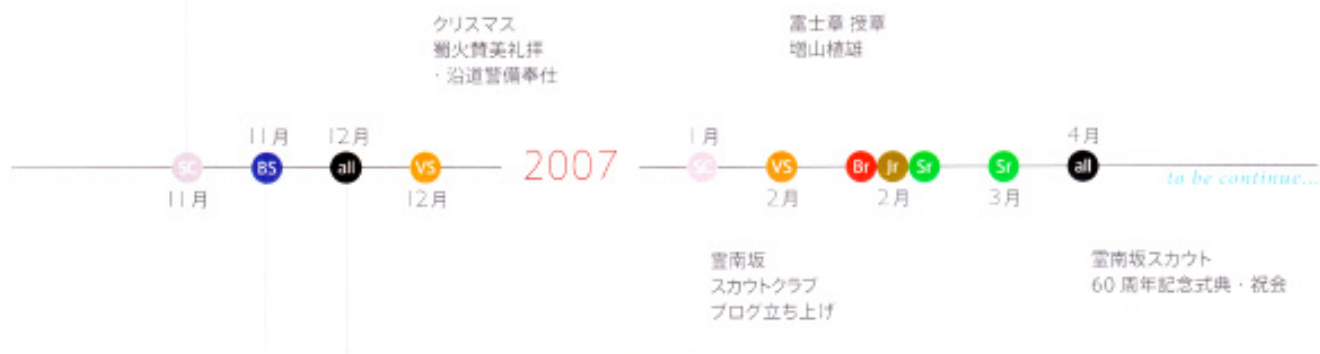
アフガニスタンのスカウト活動復興支援チャリティコンサート  
スピヴァコフ財団（豊南坂教会）



春キャンプ「Active Tokyo!」（東京大江戸博物館、横浜）



地区行事（恵比寿 加計塚）



BSA 秋季キャンポリー



合同クリスマス礼拝（豊南坂教会）





